

氏名：山本彩乃

留学先：ハンブルク大学

12月のハンブルクは、時々雪が降るほどの寒さになります。しかし、雪が積もることはないので、福井の冬よりも快適かもしれませんね。また12月は、町中がクリスマスの雰囲気です。平日でも、街に人があふれかえっています。今回の報告書では、そんなクリスマスの雰囲気あふれるドイツと、私の過ごしたクリスマス休暇について、お知らせします。

- クリスマス特有の品々

11月後半から、クリスマスの為の特別な品々が売られていきます。特に目につくのは、Adventskalender（クリスマスカレンダー）です。12月1日～12月24日までの特別なカレンダーで、カレンダーの日付の部分に、チョコなどのお菓子が入っています。日付の順番通りに入っているチョコを食べて、クリスマスが来るのを楽しみながら待ちます。どのスーパーでも必ず売られていて、種類もとても豊富です。



ドイツのクリスマスといえば、シュトレンも有名です。シュトレンはクリスマスを待つ4週間の間に、少しずつ食べる菓子パンです。スーパーや、パン屋さん、クリスマスマーケットで買うことができます。こういった、クリスマス特有の品々を見ていくと、ドイツ人にとって、クリスマスはとても待ち遠しいものであり、特別なものなんだなということが分かります

● クリスマスマーケット

ハンブルクのクリスマスマーケットは、主なものでも8か所あり、それぞれの特徴があります。特に大きいクリスマスマーケットは市庁舎前のクリスマスマーケットです。18時頃になると、平日でも動けなくなるほど人が溢れかえっており、特にグリューワインなどアルコールを売っている屋台の周りには人が密集しており、注文するのも一苦労です。しかし、色んなものを売っている屋台が沢山あるので、何度見て回っても、楽しめます。



クリスマスマーケットでもやはり定番となるのは、グリューワインです。屋台でグリューワインを注文すると、看板に書いてあったものより2~3ユーロプラスして支払います。この2~3ユーロというのは、グリューワインを入れているマグカップ分です。マグカップは屋台に返すと、プラスして払った分だけお金が戻ってきます。また、そのマグカップが気に入ったのであれば、屋台に返さず、マグカップを持ち帰ることもできます。クリスマスマーケットによって、使われているマグカップが違っていたりするので、それぞれのマグカップを集めてみることも楽しいかもしれません。私は、特に気に入ったマグカップを二つ持って帰りました。

ドイツでアルコールをあまり飲まないためか、グリューワインでも顔が赤くなり、少し酔ってしまうことがしばしばありました。屋台にはノンアルコールの飲み物もあるので、お酒に酔いやすい人は無理しないで起きましょう！



- クリスマス休暇

今年のクリスマス休暇は12月23日～1月7日までありました。私は12月中は家でゆっくり過ごし、日本の友人などと電話をするなど、とても緩やかに過ごし、大晦日には、タンデムパートナーたちとニューイヤーパーティーをしました。(大晦日、お正月については、来月の報告書でお知らせします。) 残りの1月3日から6日にかけて、私はデンマークのコペンハーゲンに旅行に行きました。FlixBusという格安バスを使い、約5時間半ほどで到着します。コペンハーゲンカードという、コペンハーゲンの美術館、お城、博物館のほとんどが入場無料になり、また、公共交通機関も乗り放題になるカードを買い、できる限り、コペンハーゲンを満喫することができたと思います。



とうとう、留学生活も残り2か月もなくなってきました。悔いの残らないよう、沢山のことを経験していきたいと思います。